

八国山～菖蒲咲く北山公園へ

コース：所沢駅—八国山—北山公園：菖蒲まつり—ロ・スティバーレ：ランチ—大善院—東村山駅 行程約 6.5km 参加者 6名

山本：令和2年6月に第一回有志の会以来3回目の北山公園です。八国山ではウグイス、ガビチョウが鳴き、アオゲラが木を叩くドラミング、チョットコイと鳴くコジュケイやトッキョキョカキョクと鳴くホトトギス等姿は見られませんでしたが多量の野鳥が迎えてくれました。もちろん歩く植物図鑑の小野さんもいましたので植物についても学ぶことが多かったです。でも、すぐ忘れちゃうかもしれませんね。菖蒲まつり中(6/4～6/19)の北山公園を後にして、昨年に行った「ロ・スティバーレ」へ、昔話にも花が咲き2時間強のおしゃべりを楽しみました。

小原：集合場所の所沢駅西口バス停から予定を変更して徒歩で行くことになり、まずは、緑豊かな狭山丘陵の「八国山」へ歩を進めます。緑陰の下、爽やかな薫風を感じながら、自然観察を楽しみました。野草、野花、樹木などの名前を教えて頂いたり、野鳥の鳴き声を聞いて、何という鳥かを教えて頂いたりしながらの散策は、大変勉強になりました。そして、「八国山」から「北山公園」に向かう途中の川の中に、じっとしているゴイサギを発見。後頭部から伸びている白いものは何だろう？と、しばし論争。(それは、繁殖期にみられる冠羽だそうです。)

「北山公園」では、花菖蒲と紫陽花が見頃を迎えていて、大勢の人たちがコロナの不安を抱えながらも、いろいろな品種の花菖蒲を観察したり、写真を撮ったりして、思い思いに楽しんでおられました。コロナ前の日常を取り戻したかのような賑わいを見せていました。毎年、梅雨時の「北山公園」の散策を楽しみにしており、今年も色とりどりの花菖蒲と真っ白な紫陽花に心癒されました。ここでは、菖蒲とアヤメの見分け方を教えて頂きました。(その一つは、花の付け根に黄色の模様があるのが菖蒲だそうです。)



醍醐天皇から五位の位を授けられたという五位鷺

「ロ・スティバーレ」では、美味しいパスタとピザをいただきながら、今回も新たな発見と多くの学びが有り、充実した一日を過ごすことができました。

小林：この日の圧巻は、北川で見かけたゴイサギ。紺の背中に、輝く白いお腹。参加者全員が初めて見る姿にうっとり。

五位鷺の冠羽際立つ夏の川

(冠羽の読み=カンウ 季語=夏の川 白鷺・青鷺は夏の季語ですが、五位鷺は歳時記に記載されていないので)

北山公園でしか咲いていない新種の花菖蒲に、2013年、公募により「北山乙女」と命名されたとのこと。

菖蒲田の「北山乙女」楚々として

(季語=菖蒲田)

小野直美：天候も、コースも、最適!! 又、レストランで、のんびり!ゆったり、ランチが出来、今回は、疲労感があまりありませんでした。何回目かの、馴染みのコースでしたが、新たな、発見も出会いもあり、出歩く事の大切さを、痛感しました。素敵な1日に感謝です。有難うございました m(_ _)m

西山：6人で所沢から歩いて行きました。ちょうど良い天気、鳥や植物のことを教えていただきながらゆっくり歩きました。北山公園の近くではゴイサギを見ることが出来ました。北山公園

は人が多くびっくりしました、珍しいハナショウブなどが咲いていました。

昼食では昔行った所の話や写真を見ながら若いとか変わらないね、など2時間ばかり長居をして楽しみました。頭、体、心 共満足し有意義な一日でした。お疲れ様でした。

小野(ま)：去年と同じコースを歩いて北山公園迄、人出が多いのにビックリし、昼食時に数年前の思い出話がとても楽しかったです。(*´ `*)°

次頁 写真

山本がカメラの充電を忘れたため今回の写真は全て小原さん撮影です。



← 合成写真
 山本を後から上に乗せたのですが、小原さんの足を踏んでいますね。
 大きさを合わせて合成するのに一苦労しました。

写真はクリックすると拡大します



北山乙女

ロ・スティバーレ

トカゲ